

新年のごあいさつ



登別市議会議員
く とう みつ ひて
工藤光秀

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、景気回復を映し法人企業の経常利益の水準はバブル期の水準を上回り、それに伴って雇用関連の回復が見られました。

しかし、一方で中小企業の経営者や町の商店主、サラリーマンなどには『景気回復といわれるが少しもその実態がない』という声も聞かれました。

また、国と地方の税財源を見直す三位一体改革で補助金の削減問題が決着し、地方への三兆円の税源移譲という数値目標にめどが立ち本格的な地方分権へ一歩踏み出した年でもありました。

このような時代背景を踏まえ、議会のあり方の変革が強く求められており、このため議会としても平成16年から誠心誠意『議会改革』に取り組み、本年中には市民の皆さん方に一定の方向を示すことができるものと考えております。

市を取り巻く情勢は誠に厳しいものがありますが、議会としては政策機能を主とした監視型議会と住民参加を基軸とした、アクティブ型議会を併せ持った協働型議会の構築を目指し、『市民が主人公』の分権型社会創造につながるまちづくりを進めてまいります。

最後に、この一年が市民の皆さまにとりまして、より良い年となりますよう心からお祈り申し上げまして年頭のご挨拶といたします。



登別市長
うえ の あきら
上野晃

新年あけましておめでとうございます。
市民の皆さまには、輝かしい希望に満ちた新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。

旧年中は、市政の推進にご支援とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年は、景気低迷による税収の伸び悩みや地方財政計画の縮小などに加え、国の『三位一体の改革』の影響を受け、厳しい財政運営を強いられました。

しかし、このような状況にありながらも、観光と他の地場産業を有機的に連携させ、複合的な産業構造の構築を図る『登別市産業クラスター形成計画』の本格的な取り組みや道内で唯一、国のモデル事業の指定を受けた登別保育所と白雪幼稚園での『幼保一元化事業』の取り組みなど、行財政改革を進めながら住み良いまちづくりに取り組んでまいりました。

本年は、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民の皆さまに熱い論議をいただいた『登別市まちづくり基本条例』と『第4次総合計画第2期基本計画』がスタートする年となります。

地方分権が進む中、この一年が、登別市にとって真の市民参画のまちづくりに向けた確かな一歩として刻まれる年となるよう、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、市民の皆さまにとりまして、明るく幸多い年となりますようご祈念申し上げます。

